

令和7年度・愛知大会 「課題研究」募集要項

I. 課題研究の定義

課題研究の定義

「課題研究」は「課題」そのものを自ら設定して取り組む研究です。対象となるのは、

- | |
|---------------------------------|
| 1) 高体連が求め、高体連として取り組むべき課題 |
| 2) 現行の分科会には含みにくい、あるいは分科会を横断する課題 |

であり、全て公募によって受け付けます。

学校運動部や高体連が抱える問題は多岐にわたっています。中には、「競技力の向上」「健康と安全」「部活動の活性化」という従来の3分科会の枠に収まらないものもあります。現場が抱える様々な問題の中から、「課題」をピックアップして研究に取り組み、実践に基づく提言をしていただくことが高体連の研究に求められています。課題研究はそのようなニーズに対応して設けられました。なお、ここでいう「課題」は、あらかじめ提示されたものの中から選択するのではなく、研究に取り組もうとする方ご自身で、設定をお願いいたします。現場から、高体連全体に関わる「課題」をピックアップし、その研究結果を現場に活用していただく主旨であり、よって、分科会ではなく全体会での発表となります。

II. 「課題研究」の進め方と発表

- | | | |
|------------|-------------------|------------------------|
| 令和6年11月末まで | 課題研究計画書（所定の書式）を提出 | 提出先：全国高体連研究部事務局。 |
| 令和7年1月5日 | 提出された課題研究計画書の審査 | 原則として2件の研究を採択。 |
| 8月15日まで | 一次原稿を提出 | 場合により加筆・修正を求めることもあります。 |
| 10月末まで | 最終原稿を提出。 | |
| 令和8年1月15日 | 愛知大会、開会式後の全体会で発表 | 発表時間は30～40分程度を予定。 |

III. 研究奨励費

- 「課題研究」として採択されると、研究奨励費として10万円が支給されます。研究奨励費は、研究の経費として使うことができます。アンケート調査の作成や郵送、調査に出かける交通費などとしてお使いいただけます。
- 発表にかかる経費（旅費等）1人分は、別途支給されます。
- 課題研究及び研究発表に対してアンケート等を実施するにあたり専門業者を活用しデータ処理を行う場合、奨励費の他に給付する。給付額は、1研究30万円まで、2研究までを原則とする。

IV. 「課題研究」の例

- 高体連活動に新しい価値を見出す広島風アプローチ—高校生ポーターキャラバンがつぐむスポーツコミュニティ
- 北海道高体連主催大会参加者災害補償制度の導入の経緯と現状
- 東日本大震災と宮城県高体連—“非日常”から見える可能性と課題
- 東日本大震災と岩手県高体連—県総体総合開会式と北東北総体への取り組みをめぐって
- 運動部活動顧問を取り巻く現状と課題—東海4県の顧問意識調査から見えること
- 一人ひとりの生徒が輝く運動部活動を求めて—部内専門委員会の立ち上げとその取り組み
- 「学び」を生かす多角的アプローチ—札幌南高校陸上競技部の取り組み
- 高校運動部活動の魅力を探る—富山県高体連における追跡調査を通して
- 安全・安心な部活動を目指して—千葉県における安全情報の普及・浸透への取り組み
- 運動部活動が育むものとは何か—部活動の存在意義についての東京の調査研究
- 持続可能な部活動をめざして—長崎県の実態と取り組み、そしてこれから—
- 持続可能な部活動—コロナ禍で改めて見えてくる大切なこと—
- ウイズコロナ時代のインターハイ運営—企業経営理論を取り入れた登山大会—
- コロナ禍での部活動—再認識した価値—工夫と変化の調査—